

令和4年2月4日

暦の上ではもうすぐ春ですがまだまだ寒い日が続いています。肌に触れる冷たい風に頬や鼻を赤らめながら元気に遊んでいる子どもたちです。冬ならではの遊びや楽しみを見つけてながら今月も元気に過ごしたいと思えます。

さて、新型コロナウイルスオミクロン株が全国で急増しています。福岡も例外ではありません。久留米も感染者が出ていますので、いつ自分が陽性になってもおかしくない状況です。予防対策をしっかりと継続して感染しないよう注意してください。

2月の行事

- 1日(火) 身体測定
- 3日(木) 節分会
- 16日(水) 消火・避難訓練
- 25日(金) 誕生会

写真撮影しました!

1月13日(木)にクラス写真を撮りました。小さいクラスのお友達は、泣いたり手もいてはななカメラを見てくれませんでした。大きいクラスのお友達は、ポーズをきめていた子もいました。撮影にご協力いただき、ありがとうございました。

豆まき

- 2月3日(木)は、節分です。「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて悪いものを追い出す日。「鬼は外・福はうち」と言いながら豆まきをします。
- 節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があります。
- 昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。そのため、暦の上で春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを「節分」と呼ぶようになったそうです。
- 悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込むために、豆まきをします。ずーと昔に、豆をまいて鬼を退治したところから由来しています。豆は、芽が出て追いついたはずの悪いものが育たないように、炒った豆を使うそうです。



「食べ物や小物の「詰まる」を防ぎましょう!!」

消費者庁より2021年1月20日(水)に、「食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意!」一気管支炎や肺炎を起すおそれもある、硬い豆やナッツ類等は5歳以下の子どもには食べさせないで」というお知らせが出ました。下記のことを知っておきましょう。

詰まったら取れない! 食べ物の特徴



食べ物が喉(気道上部)や気管(食道との分かれ道以下)をふさぐと窒息します。喉に詰まりやすい食べ物の特徴を知っておきましょう。

詰まりやすい食べ物

- アメ・ぶどう・輪切りのソーセージ
- ミニトマト・もち・白玉・パン・こんにゃく
- 豆類・カップゼリー・ウズラの卵
- 肉類・イカ・キノコ類・たくあん
- 節分の豆・ナッツ類

子どもが何かを口に入れたら...

大きな声を出さないで。おどろいた拍子に息を吸い込み口の中のものを吸い込んでしまうおそれがあり大変危険です。静かに近づき優しく「あーんしてみよう」など声をかけて取り出しましょう。

もし詰まってしまったら

何かを詰まらせたことに気づいたらすぐに119番して下さい。強くせき込んでいる時は、それで取れるかどうか見ます。せき込みで取れない、またせき込みできない時は、背中をたたき→腹部を突き上げる(乳児は胸部)をくり返し行います。ぐったりしてしまったり救急隊が到着するまで心肺蘇生(胸骨圧迫人工呼吸)を続けます。

